

(604) スキルアップ！重度・重複障害児の指導

月日	時 間	研 修 内 容 等
7 月 30 日 (月)	9:40~10:00	研修オリエンテーション
	10:00~12:00	講義 「重度・重複障害児の指導の実際」 福岡県教育センター指導主事
	13:00~14:00	講義・演習 「重度・重複障害児の指導の実際」 福岡県教育センター指導主事
	14:15~16:00	実践発表・協議 「重度・重複障害児の指導の実際」 特別支援学校教諭 2名
	16:00~16:30	事務連絡 担当指導主事
7 月 31 日 (火)	9:30~ 12:00	講義・演習 「重度・重複障害児の指導の実際 ～感覚運動指導の観点から～」 【講師】 こうべ学びの支援センター 指導主事 中尾 繁樹
	13:00~16:00	講義・演習 「重度・重複障害児の指導の実際 ～感覚運動指導の観点から～」 【講師】 こうべ学びの支援センター 指導主事 中尾 繁樹
	16:00~16:30	事務連絡 担当指導主事
8 月 1 日 (水)	9:30~ 12:00	講義 「重度・重複障害児の指導の実際 ～コミュニケーション支援～」 【講師】 東京都立府中養護学校 教諭 坂口しおり
	13:00~16:00	講義・演習 「重度・重複障害児の指導の実際 ～コミュニケーション支援～」 【講師】 東京都立府中養護学校 教諭 坂口しおり
	16:00~16:30	事務連絡 担当指導主事



中尾先生の講義・演習



講義中の受講者の様子



実践発表

受講者の声

実践や演習がたくさん組み込まれており、2学期からすぐに使えそうなこと、基礎となる考え方を学ぶことができました。

まずは、目の前の子どもの課題をもう一度見直してみようと思いました。そして、かわりや支援の方法が子どもに適切であるか考えてみたいと思いました。

「三項関係」<sup>注1)</sup>の話はすぐに実践に移していきたいなあと感じました。

注1) 「話し手」と「聞き手」と両者に共有される「テーマ」という3つの要素からなる三角形的な対話の構造。  
(「コミュニケーション支援の世界 - 発達とインリアルな視点を取り入れて - 」坂口しおり著参照)